

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスWING日野駅前				公表日	2026年 3月30日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		必ずしも十分なスペースとはいえません。外出活動等、可能な限り緩和するように努力しています。	レイアウト変更や環境整備を適時、進めてまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		支援者の多いお子さんに対して、種別マンツーマンで対応をしております。基準人員以上に配置しておりますが、スタッフの急な欠勤時は、法人内で助っ人対応し、安全な運営を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	事業所は2階にあり階段がありますが、歩行に不安定のある児童には手すりを使用し、職員が手を繋いで安全に誘導しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		清潔は、毎日の掃除で保持しています。空間に関しては、適時パーティション等を用いて区切っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		必要時は、個室を使用し、個別対応を行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		半期に一度、保護者面談の実施。 従業員にも、半期に一度面談があり、面談シートを活用し可視化を行い業務改善を意識しやすい環境を維持している。 毎日の終礼でのヒヤリハットの確認。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		定期会議及び日々の朝礼・終礼時に寄せられたご意見を検討。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		管理者及び理事にて、従業員との個別面談の実施を行っています。	意見を会議等で共有し業務改善を行っているが、今後はハウスルールを作成し基準を作成予定。その基準をPDCAサイクルし、向上を目指す。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8		現状、実施しておりません。実施検討中です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		法人内研修実施(年2回) 外部研修への参加(年1回) また、必要な時は臨時に会議や研修を行い維持・向上を図っている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		ホームページに、掲載しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		ご利用前に、見学・体験・相談の上、アセスメント及び個別支援計画の作成をしております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		個別支援計会議を行い作成しております。尚、日々意識できるよう重要な事は、朝礼・終礼で確認できるよう務めている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		非常勤職員及び入職したての職員にも、共有を強化するため、回覧閲覧方法を導入しております。	法人全体に事業所の計画が明確になるよう、周知・データ格納を行い、緊急時のヘルプ職員にも、共通支援を行いやすいよう務める。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		フォーマルアセスメントは伝えていないものの、日々の行動観察はどの職員も意識して行っている。	標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントの導入を進める。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		「移行支援」及び「地域支援・地域連携」は地域に枠組みがないため、記載事項はありません。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		イベントの企画立案をチームで行っております。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		固定プログラムもありますが、いくつか新しいプログラムも取り入れております。	新しいプログラムを検討する時間と固定化しない為に事業所内で新しいプログラムを年度でいくつ実施するかなど、基準を設ける。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		一人一人の特性に応じて、個別活動と集団活動において、環境設定や活動の段階付けを行い、一人一人のお子さんに合わせた支援を行っております。	今後も、一人一人にあった支援内容となるよう取り組んでいく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝礼及び昼礼に、一日の流れの確認を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		終礼時に、当日あった出来事のみ振り返りと情報共有を行っており、翌日以降も共有が必要な情報は、業務日誌に記録しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		日々の記録は、電子媒体の記録(サービス提供記録表)とデータ管理しております。職員が記録を確認することを徹底し検証・改善を朝礼・終礼で継続している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		基本、半年に一度行っております。その上で児童の変化や保護者の希望に柔軟に対応できるよう務め運営を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		ガイドラインに基づき、複数の基本活動を組み合わせ支援を行っている。	基本活動に関する理解を職員間で共有し、支援の質の均一化を図る。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		個々の特性に応じて、自己選択・自己設定できるよう声かけ等を変えて支援に取り組んでいる。	個別支援計画書の記録等にも、プロセスを記載し、職員間で共有を図る。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		他機関から要請があった場合は、児童発達管理責任者が会議に参加しております。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			連携希望があった場合は、適切な協力を行います。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	8		予約表での管理を行い、メール・電話等も活用し、運営を行っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		日野市発達・教育支援センターとは、情報共有を行っております。(かしのきシート)。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		個人情報の為、弊所から自発的に情報提供は行っておりません。先方や保護者より、ご希望があった場合は、適切に対応しております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	日野市発達・教育支援センター主催の研修会への参加を行っております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8		不定期ではございますが、児童館利用は行っております。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0	8		連携希望があった場合は、適切な協力を行います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		日頃より保護者の皆様と連絡帳や送迎時のやり取りにより、丁寧な情報共有を行い、お子さんの発達状況や課題について共通理解を持ちながら支援を行っております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4	定期面談や連絡帳、送迎時の申し送り等を通して、必要時お子さんへの対応方法を両者で検討し、ご家庭方針に寄り添った支援を提供しております。	ペアレントトレーニングとして明確に位置づけた支援の機会が十分に周知されていないため、今後は支援内容をわかりやすく伝えていく。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に、ご説明させて頂いております。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		面談時に、保護者様ニーズの聞き取りを適切に行っております。日々の連携は電子連絡帳で行い意思尊重を最大限考慮できるよう務めている。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		ご説明をさせて頂いた上で、ご署名・ご捺印を頂いております。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		定期面談以外にも、必要に応じて適時対応しております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	8		ご希望が多く寄せられた際は、検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		発生時は、直接の聞き取りと状況にあった窓口を設定し迅速かつ適切を最大限意識1分・1秒でも早くご安心とご納得いただけるよう務めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		年3回WING通信を発行し、活動情報を発信しております。	来年度は、インスタグラムを活用し、定期的に情報発信する予定です。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報等は全て鍵付き書庫にて保管しております。秘密情報の保持に関する誓約書も締結し、退職後も含めて、守秘義務を徹底する環境を整備しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		電子連絡帳にて、詳細を記載しており、送迎時の申し送りなどで、当日の出来事などをお伝えしております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8	地域の方をご招待する等の行事は行っておりませんが、買い物支援や外食支援で事業所近隣のコンビニエンスストア、スーパー、飲食店等を利用して頂き、都度ご協力を頂いております。	児童と地域のつながりは個々のご希望に差異が生じる為、WING従業員との繋がりで安心・安全で笑顔が溢れるを大事にしている為、児童と地域住民が直接交流を図る機会は、現状計画予定はございません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各種マニュアルを策定し、職員間で周知・共有を図っている。	保護者への周知が十分とは言えないため、わかりやすい形での情報提供を検討する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		火災・地震を想定した避難訓練を年2回実施。また、避難所までの避難想定で訓練を実施しております。法人にてBCP委員会を設け、策定を行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		フェイスシートを毎年ご記入頂き、状況の確認及び情報共有を行っております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		該当児童は在籍しておりますが、必要時は、医師と連携を行います。現在までに、ご利用中にアレルギー症状が発生したことはございません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		計画に基づき、お子さんへの安全管理を十分に検討した上で、支援を行っております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	安全計画を策定しており、計画に基づいて家族等に周知しております。	保護者への周知が十分とは言えないため、わかりやすい形での情報提供を検討する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		終礼時に確認を行い、職員会議時に再発防止の検討を行っております。事故防止の観点からヒヤリハットを大事に運営しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		法人内や東京都の虐待防止研修に参加しております。虐待に対する意識を日頃から強化できるよう委員会が適時アナウンスを行っております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		契約書に明記しております。また、契約締結時に詳細をお伝えしております。その上で、身体拘束が発生する支援は実施しておりません。		